

令和 5 年度

幼稚園・幼保連携型認定こども園

# キャリアアップ研修Ⅱの手引

※平成 30 年度より「中堅教諭資質向上研修」を「キャリアアップ研修Ⅱ」と名称変更しました。

長 野 県  
長野県教育委員会

## 1 教員育成指標作成の経緯

「長野県教員研修体系」（平成 25 年 11 月策定）には、長野県の教員に求められる資質能力として、次の A～E の資質能力が示されています。

- A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解
- B 確かな人権意識と共感力
- C 地域社会と連携・協働する力
- D 目標実現に向け、柔軟に対応する力
- E 「教育のプロ」としての高度な知識や技能

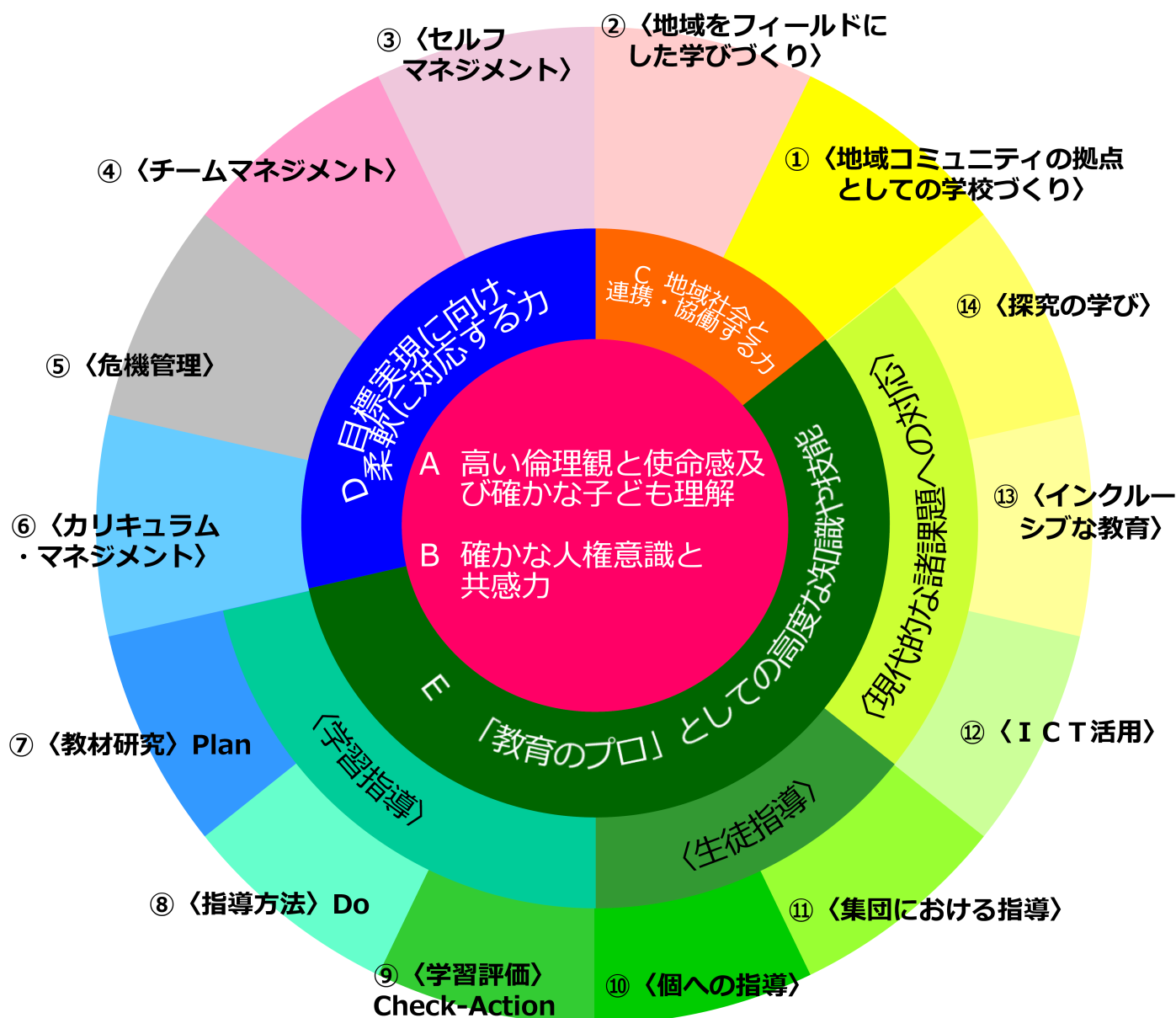
この「求められる資質能力」を「理念指標」と「実務指標」に分けました。「理念指標」とは、繰り返し自覚し絶えず意識化を図る資質能力であり、「実務指標」とは、経験や研修を積むことで高めていく資質能力です。

このうち、「実務指標」について、キャリアステージに応じて高まるものとし、指標化することにしました。



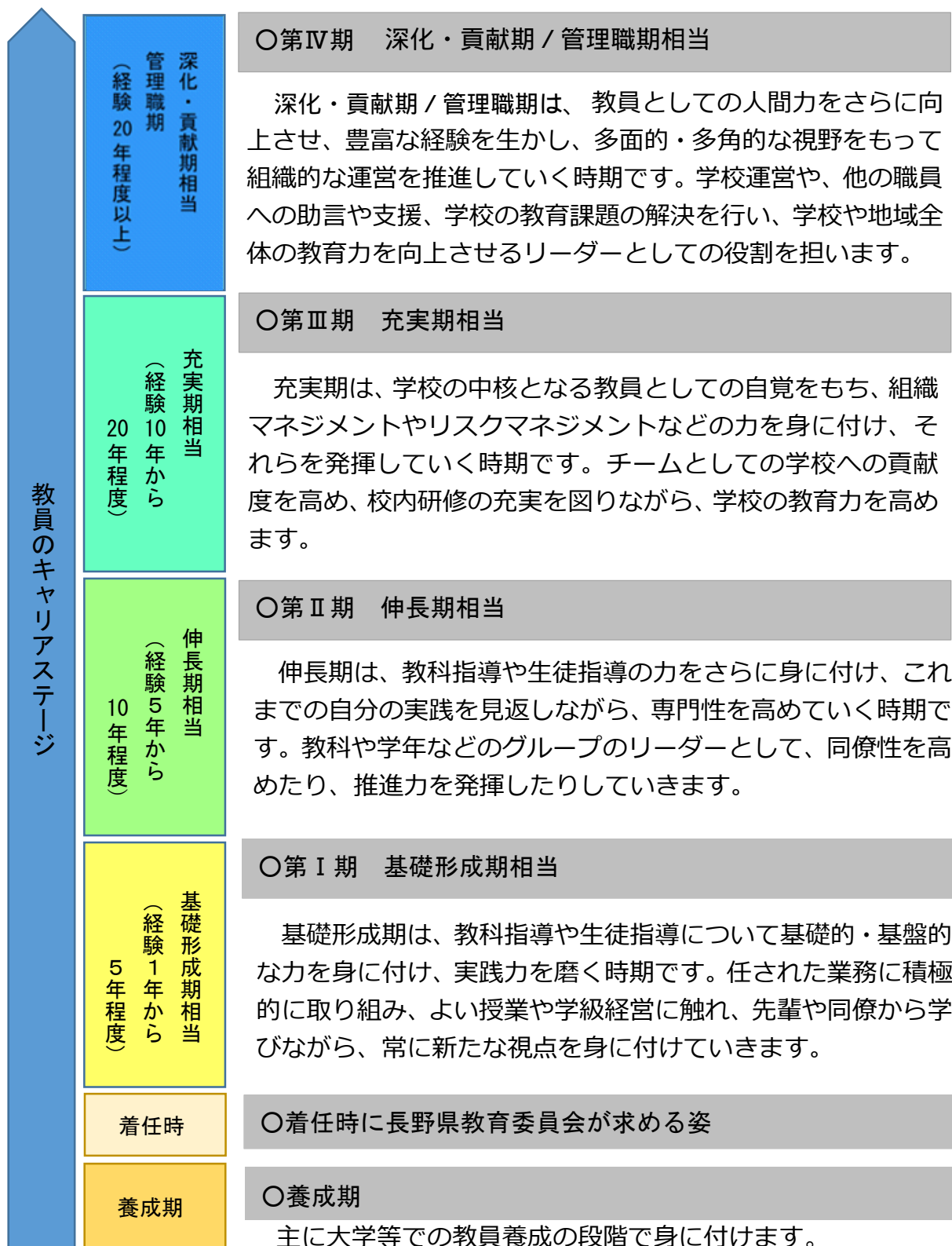
## 2 実務指標を支える14のスキル

5つの求められる資質能力について、下図のように整理しました。まず、繰り返し自覚し絶えず意識化を図る、「A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解」「B 確かな人権意識と共感力」の2つの資質能力を中核にし、教職キャリアの基盤としました。また、その周囲に、経験や研修を積むことで高めていく、「C 地域社会と連携・協働する力」「D 目標実現に向け、柔軟に対応する力」「E 「教育のプロ」としての高度な知識や技能」の3つの資質能力としました。さらに、これらを支えるスキルとして、14のスキルを位置付けました。



### 3 教員のキャリアステージ

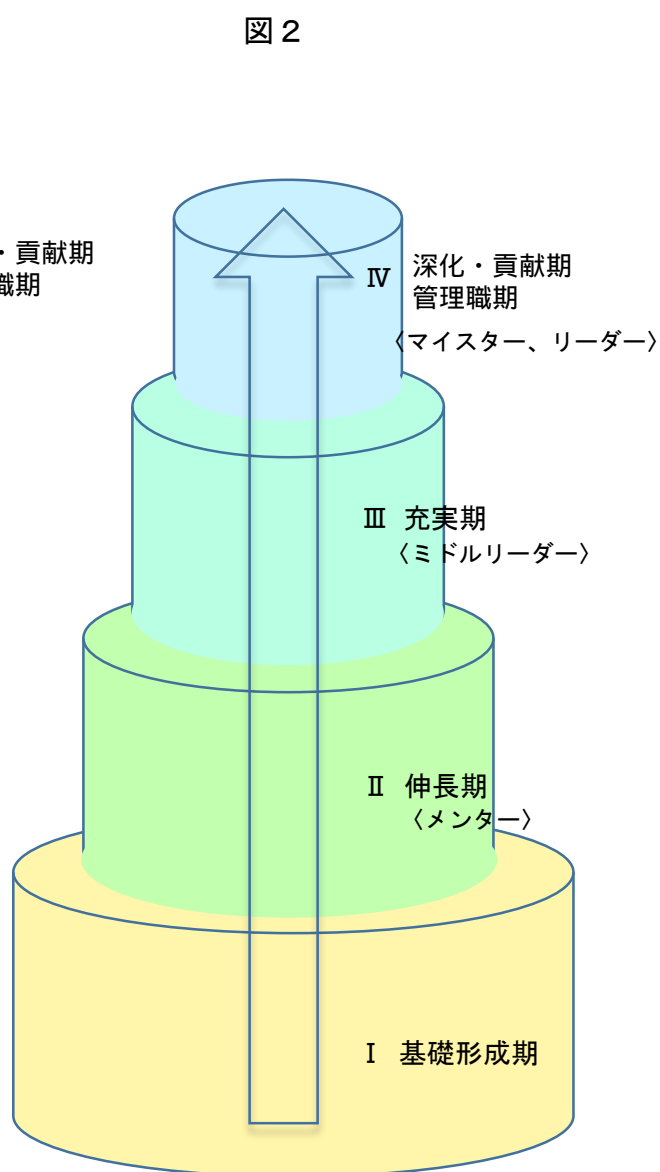
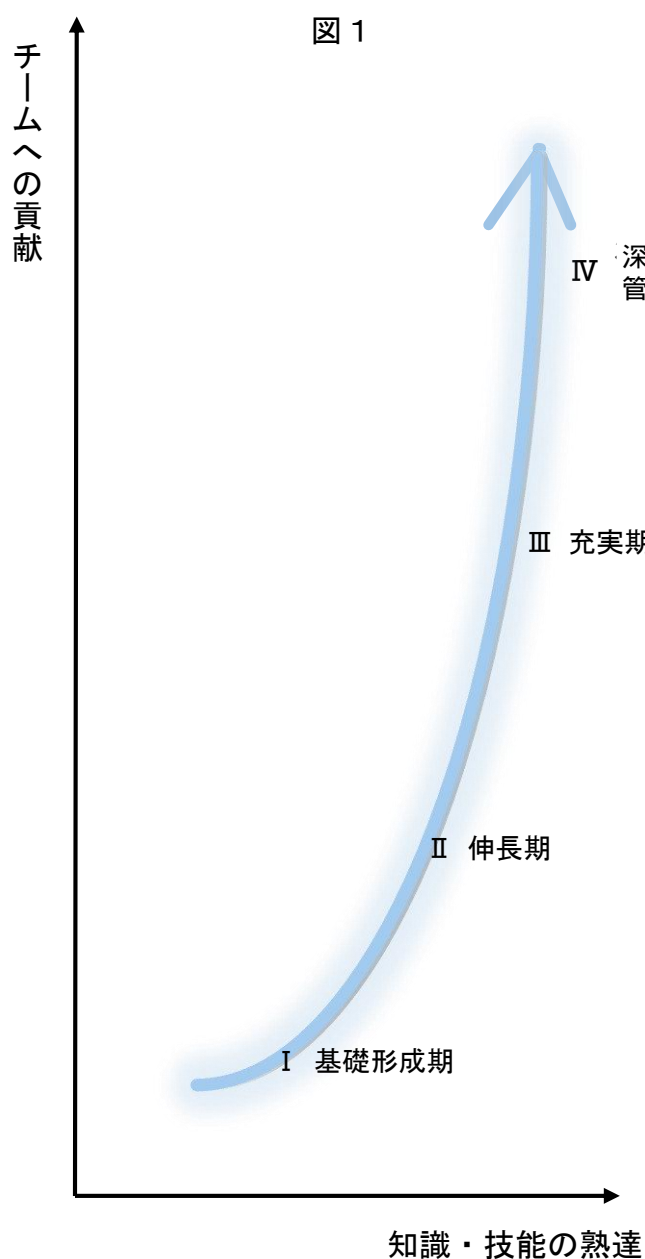
長野県では、教員のキャリアステージを「養成期」、「基礎形成期」、「伸長期」、「充実期」、「深化・貢献期 / 管理職期」に区分し、それぞれのキャリアステージの高まりを示しています。スキルの向上は、必ずしも年代や経験年数によるものではないので、「相当」という言葉を用いて幅をもたせています。



教員育成指標では、それぞれの資質能力を支えるスキルごとに、「チームとしての学校」の一員として、教員が各ステージで果たす役割に着目してスキルの高まりを表しています。第Ⅰ期、第Ⅱ期は、主に知識・技能の熟達が高まり、第Ⅲ期、第Ⅳ期は、主にチームへの貢献が高まっていきます。（図1）

また、第Ⅰステージが土台となり、それに第Ⅱ、第Ⅲ、第Ⅳステージが積み重なってスキルが高まっていくことをイメージして表しています。

（図2）



理念指標	求められる資質能力				
	繰り返し自覚し絶えず意識化を図る資質能力		A 高い倫理観と使命感及び及び確かな子ども理解		
実務指標	求められる資質能力		資質能力を支えるスキル		
	C	連地携域・社会と協働とする力	地域コミュニティの拠点としての学校づくり	キャリアステージで身に付けるスキル	
			地域をフィールドにした学びづくり	・運営委員会と協働して活動を推進する中で、学校と地域が願いを共有して学校づくりに取り組めるようにする。	
	D	目標実現に向け、柔軟に対応する力	セルフマネジメント	・職務に関する最新の動向を把握したり、自分が得意とするスキルを磨いたりして、力量向上を図る。	
			チームマネジメント	・学校経営に積極的に参画し、自校の教育活動の状況を的確に把握しながら、校内の様々なチームや外部の専門職との連携・調整を図る。	
			危機管理	・発生事例やヒヤリハット事例を収集・分析するなどの研修を企画したり、危機を想定した訓練を行ったりして、学校の危機管理能力を高める。	
			カリキュラム・マネジメント	・児童生徒や地域の状況に関するデータ等に基づき、教育課程の編成・実施・評価・改善を行う一連のPDCAサイクルを確立する。	
	E	「教育のプロ」としての高度な知識や技能	学習指導	教材研究 (Plan)	・教科会や学年会で教材研究を行う時間を確保するとともに、教材研究の仕方を学校全体でそろえる。
				指導方法 (Do)	・校内で互いに授業を見合う機会を設定し、創意工夫に基づく指導方法の不断の見直しに学校全体で取り組む。
				学習評価 (Check-Action)	・様々な教育活動で行われている学習評価を関連付け、学校全体の学習の成果を的確に捉え、教育課程の改善に生かす。
			生徒指導	個への指導	・児童生徒の状況を日常的に把握し、適時性のある指導方針を示したり、ケース会議の充実を図ったりして、学校全体の生徒指導をリードする。
				集団における指導	・自らの実践を通して、校内における望ましい集団づくりをリードする。
			現代的な諸課題への対応	ICT活用	・教職員のICT活用指導力を把握し、校内研修を計画的に行ったり、一人一人の実態にあった研修の内容や方法をアドバイスしたりして、教職員の指導力を高める。
				インクルーシブな教育	・自発的・自治的に活動できる集団づくりをする。 ・アセスメントの知見を活かし、同僚への指導助言や実践の発信等を通して校内の特別支援教育の充実を図るとともにインクルーシブな教育をリードする。
				探究の学び	・探究の学びを推進するリーダーとして、自校・近隣校での実践の充実や教員の専門性の向上に寄与する。



# はじめに

## ○ 研修の目的

この研修は、教育公務員特例法及び長野県公立学校教員研修要綱に基づいて実施する、教職経験年数が10年目の教員を対象とした研修です。

「長野県教員育成指標」では、上記にあたる時期を伸長期相当に位置づけており、「これまでの自分の実践を見返しながら、専門性を高めていく。」と示しています。この時期に求められる研修の視点は、次の3つです。

① 意識の改革  
「変わる」

② 視野の拡大  
「広がる」

③ 専門性の向上  
「深まる」

これらを意識して、実りある研修にしましょう。

### 【意識の改革】

#### ○「全体研修」

喫緊の課題について研修し、新たな知見を得る。

### 【視野の拡大】

#### ○「異業種体験研修」

地域に学び、学校教育を外から見る視野をもつ。

### 【専門性の向上】

#### ○「キャリアステージ研修」

#### ○「選択研修」

保育者としての、専門的な知識や技能を高める。

○「園内・園外研修」で、学んだことを実践に生かし、確かな定着を図る

### 研修の成果を自身の成長の足場にするとともに、周囲に広げる

- ・ 1年間の研修を振り返り、自己課題に基づき取り組んだ内容を整理する。
- ・ 成果と課題を把握して、生涯をかけて目指す教師像をイメージする。
- ・ 成果を在勤園や今後勤務する園の運営等に還元する。

# 第一部

キャリアアップ研修Ⅱの概要

# キャリアアップ研修Ⅱ実施要綱

長野県  
長野県教育委員会

## (趣旨)

第1 この要綱は、教育公務員特例法(昭和24年法律第1号)の第24条の第1項の規定により、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に対する研修(以下「キャリアアップ研修Ⅱ」という)の実施に関して必要な事項を定めるものとする。

## (実施)

第2 長野県及び長野県教育委員会(以下「県及び県教育委員会」)又は対象者が所属する学校を所管する市町村幼児教育担当課及び市町村(学校組合)教育委員会(以下「関係市町村等」)は、採用から在職期間が10年目以上になる教諭等に対し、キャリアアップ研修Ⅱを受けさせるものとする。

## (対象者の定義)

第3 キャリアアップ研修Ⅱの対象者は、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、及び幼保連携型認定こども園(以下「公立学校」という)において、採用から在職期間が10年目以上になる教諭等をいう。ただし、次の各号のいずれかに該当する者は除く。

- (1) 臨時的に任用された者
- (2) 他の任命権者が実施する10年経験者研修を受けた者
- (3) 地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律第3条第1項若しくは第2項、第4条又は第5条の規定により任期を定めて採用された者
- (4) 指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有する者で、任命権者が当該者の経験の程度を勘案してキャリアアップ研修Ⅱを実施する必要がないと認める者
- (5) その他、県及び県教育委員会が認めた者

## (キャリアアップ研修Ⅱに係わる在職期間の計算方法)

第4 在職期間は、国立学校、公立の学校又は私立の学校である小学校等の教諭等として在職した期間(臨時的に任用された期間を除く)を通算した期間とする。

在職期間のうち次にあげる期間が引き続き1年以上ある時は、その期間の年数(1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数)を当該在職期間から除算する。

- (1) 国家公務員法又は地方公務員法の規定による休職又は停職により、現実に職務を執ることを要しない期間
- (2) 国家公務員法又は地方公務員法の規定により職員団体の役員として専ら従事した期間
- (3) 国家公務員法の育児休業に関する法律又は地方公務員の育児休業等に関する法律の規定により育児休業をした期間

- (4) その他在職期間から除算すべき期間として県及び県教育委員会が定める期間

**(運営)**

第5 県及び県教育委員会は、キャリアアップ研修Ⅱを実施する。

第6 県及び県教育委員会は、長野県教員育成協議会を設置し、キャリアアップ研修Ⅱの計画及び実施に伴う諸問題等を協議する。

**(研修の猶予)**

第7 県及び県教育委員会は、対象者がキャリアアップ研修Ⅱに参加することが著しく困難と判断される場合は、当該対象者のキャリアアップ研修Ⅱを猶予することができる。

**(内容)**

第8 キャリアアップ研修Ⅱの研修内容は、別表のとおりとする。

**(研修計画等)**

第9 対象者が所属する公立学校の長(以下「校長等」という)は、対象者ごとにキャリアアップ研修Ⅱ対象者カード(評価案)及び研修計画書(案)を作成し、関係市町村等に提出する。

第10 関係市町村等は、校長等から提出されたキャリアアップ研修Ⅱ対象者カード(評価案)及び研修計画書(案)に基づき、対象者ごとに研修計画書を作成完成させる。この場合において、関係市町村等は、完成した研修計画書の写しを園に送付するとともに、学びの改革支援課又はこども・家庭課宛に提出するものとする。

第11 関係市町村等は、キャリアアップ研修Ⅱの実施状況を把握し、校長等に適切な指導・助言等を行う。

**(研修報告等)**

第12 校長等は、研修終了後、研修報告書を作成し、関係市町村等に提出する。関係市町村等は、研修報告書の写しを県又は県教育委員会に提出するものとする。

**(その他)**

第13 この要綱のほか、キャリアアップ研修Ⅱに関する事項は、県及び県教育委員会が別に定める。

## キャリアアップ研修Ⅱ 別表

キャリアアップ研修Ⅱの内容等は、次の表のとおりとする。

幼稚園・ 幼保連携型認定こども園	研 修 内 容		場 所 ・ 開 催 方 法	日 数	備 考
	園内研修		在勤校	年間 9 日間	
	園外研修	全体研修	市町村教育委員会 等 長野県総合教育センター 地域の企業・福祉施設 オンライン開催	年間 5 日間	
		異業種体験研修			
		キャリアステージ研修 (Ⅲ充実期相当)			
		選択研修			

- 1 上記内容を、指定された年度の1年間で修了することを原則とする。
- 2 研修内容の具体・日程・場所については、別に定める。
- 3 全体研修、異業種体験研修、キャリアステージ研修、選択研修の受講を必須とし、その上で各自の研修を計画し推進する。

## 令和5年度 キャリアアップ研修Ⅱ対象者の基準

### 1 休職等の期間の取扱について

- (1) 一年以上連続した休職、停職、在籍専従、育児休業及び療養休暇等を除いて算定した在職期間が、10年目に達する者は研修の対象となる。(次ページの具体例を参照)

### キャリアアップ研修Ⅱ実施要綱 第4

・・・在職期間のうちに次に挙げる期間が引き続き1年以上あるときには、その期間の年数(1年未満の端数があるときは、これを切り捨てた年数)を当該在職期間から除算する。

<除算するもの>

・休職 ・停職 ・在籍専従 ・療休 ・介護休暇 ・育児休業

<除算しないもの(経験年数に入れるもの)>

・長期研修(内地留学・信教研究所等) ・信州大学教育学部附属学校園勤務

・教育委員会関係勤務 ・県外、県内での正規教員勤務年数

## 休職等の期間の取扱いについての具体例

※実際に園で勤務した期間と異なるので注意

- ① 数回にわたる休業等は、休業等1回に付き、それぞれ計算して除算します。

### A教諭の場合



☆R 5. 4. 1 現在で  $10 - 1 - 2 = 7$  年経験者 令和5年度の対象者とならない

- ② 連続した産育休であっても、子ども一人に対しての育休期間をそれぞれ除算します。

### B教諭の場合



☆R 5. 4. 1 現在で  $12 - 2 - 1 = 9$  年経験 令和5年4月で10年目 令和5年度の対象者となる

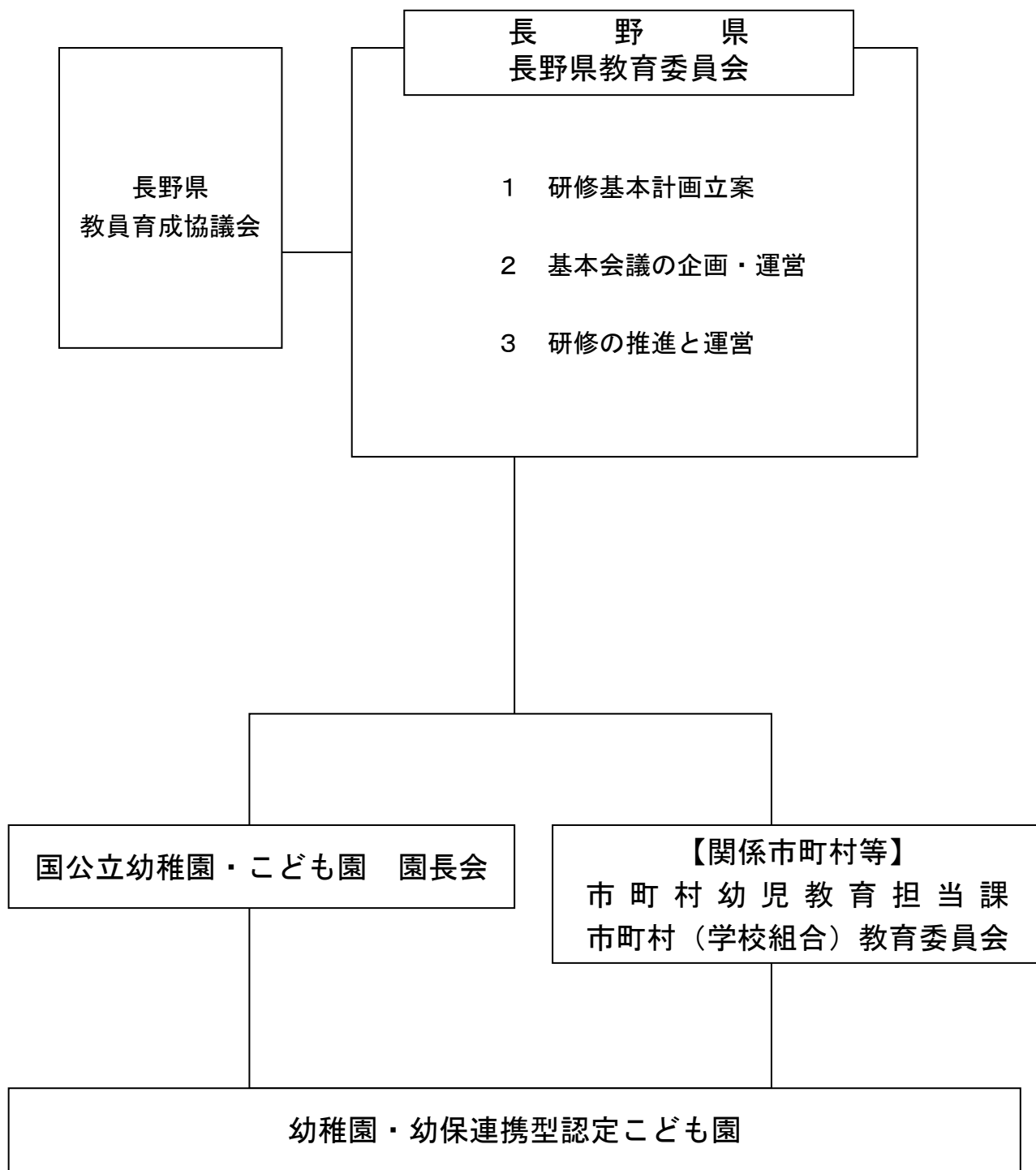
- ③ 以前にも正規採用経験がある場合

### C教諭の場合



☆最初の経験年数は  $11 - 2 - 2 = 7$  年 再採用後2年経験  $7 + 2 = 9$  年経験  
令和5年4月で10年目 令和5年度の対象者となる

令和5年度 キャリアアップ研修Ⅱの実施系統図  
幼稚園・幼保連携型認定こども園



## 第二部

# 研修の計画と実施

## キャリアアップ研修Ⅱ内容

幼稚園等（幼稚園・幼保連携型認定こども園）

研修名	内容	場所	日数	期日
キャリアアップ研修Ⅱ (全体研修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」</li> <li>・協議「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間について」</li> <li>・講義「なぜ今、学校・地域・家庭の連携なのか」</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・演習「これまでの10年間、これからの10年間」</li> </ul>	総合教育センター	1日	C : 5/22(月)
異業種 体験研修	「地域を知る。地域と関わる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通して社会への視野を広げる。</li> <li>・地域と連携した教育を推進する力を養う。</li> </ul>	在勤校近隣地域の社会福祉施設、企業等 (受講者が選定し交渉する)	2日	長期休業中
キャリアステージ 研修 (Ⅲ充実期相当)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験10年程度の保育者を対象にした全園的な視野に立った資質・能力を身に付ける研修</li> <li>・対象者自身が開催要項に従って申込等の手続きを行うこと。</li> </ul>	オンライン開催 (幼児教育支援センター主催)	1日	11/9(木)
選択研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者自身が研修場所を選択し、研修依頼や申し込み等の手続きを行って実施する。</li> </ul>	研究会実施校園等	1日	年間
園内研修 「実践を通して学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験研修を生かした実践</li> <li>・内部評価、外部評価を取り入れた教育活動</li> <li>・地域の資源を生かした幼児教育の研究</li> <li>・自己課題の追究 自己課題を設定し、テーマに基づいた教材研究や援助に関する研修、研究保育による自己研修等を、園長や主任等の指導助言を受けながら実施する。</li> </ul>	在勤園	9日	年間

○上記の内容(計14日)について、年間を通して実施する。

## Ⅱ 提出書類記入上の注意及び書類提出に係る留意事項

### 1 対象者の報告

公立幼稚園等を置く関係市町村等は、対象者の有無について、「受講対象者報告書」（様式 10）を令和 5 年 3 月 23 日（木）正午までに、公立幼稚園の対象者は長野県教育委員会事務局学びの改革支援課（以下、「学びの改革支援課」という）長宛に、公立幼保連携型認定こども園の対象者は長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課（以下、「こども・家庭課」という）長宛に提出すること。市町村の事情により提出が間に合わない場合は、公立幼稚園の対象者は学びの改革支援課担当者に、公立幼保連携型認定こども園の対象者はこども・家庭課担当者に連絡すること。

様式 10 受講対象者報告書

### 2 猶予について

校長等は、対象者がやむを得ない事由でキャリアアップ研修Ⅱの全てに出席することができない場合、当該対象者の「指定研修猶予願（様式第 5 号）」を作成し、下の提出期限までに、関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。

※前年度より引き続き猶予の場合も、年度ごとに提出すること。

様式第 5 号  
指定研修猶予願

提出期限 令和 5 年 4 月 14 日（金）

#### ＜研修猶予の例＞

- ◇産・育休中（年度内に産・育休に入ることがあらかじめ分かっている場合も含む）
- ◇療休、介護休暇等
- ◇内地留学、長期校外研修
- ◇日本人学校勤務、団体役員専従期間
- ◇健康上、受講不可能な場合
- ◇育休明け 1 年未満で研修の実施が困難であると本人からの申し出があった場合
- ◇育児短時間勤務等により、終日の研修を受講することが困難な場合
- ◇その他、県教育委員会が認めた場合

### 3 研修の休止、再開について

- ① 対象者が健康上の理由等により、指定された年度途中で研修を継続することができないと判断する場合、校長等は、指定研修休止願（様式 6）及び指定研修報告書（休止者用）（様式 4）を、関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。
- ② 翌年度以降、研修を再開する場合、校長等は、指定研修再開願（様式 7）を、関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。

#### ＜研修休止の例＞

- ◇産、育休
- ◇療休、介護休暇等
- ◇健康上、受講不可能な場合
- ◇その他、県及び県教育委員会が認めた場合

③ 指定研修休止者の異動への対応について

- ・指定研修休止者が異動する場合、校長等は、異動先の幼稚園等の園長に、キャリアアップ研修Ⅱ休止の旨を連絡するとともに、「指定研修休止者異動届（様式9）」を、関係市町村等に提出する。
- ・関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。

#### 4 欠席の手続きについて

校長等は、対象者が健康上のやむを得ない事由等で、各研修を欠席するときは、速やかにその旨を当該研修の主催機関に通知し、必要に応じて代替講座を相談の上、下記のように欠席届を提出する。

- ① 園外研修（キャリアステージ研修、選択研修）を欠席する場合は、校長等を通じて速やかにその旨を、当該研修の主催機関の長あてに連絡する。校長等は、事前もしくは事後に、関係市町村等に「園外研修 欠席・遅刻・早退届」（様式8）を提出する。関係市町村等は、その写しを幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出すること。

様式第8号 園外研修 欠席・遅刻・早退届

- ② 長野県総合教育センターが主催する「全体研修」講座について、指定された日に都合がつかない場合は、長野県総合教育センターHP（<https://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>）から、校長等が欠席に係る電子申請を行う。その際、送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式60号）を出力し、所属園で保管する他、関係市町村等に提出すること。

様式第60号 指定研修講座欠席届

- ③ 異業種体験研修の期日及び場所を変更する場合  
やむを得ず研修の期日及び場所を変更する場合は、対象者は校長等を通じて、研修をする機関の長あてに変更の連絡をし、指定された年度内に当該研修を修了すること。

#### 5 遅刻又は早退の手続きについて

校長等は、対象者が園の行事や健康上のやむを得ない事由で遅刻又は早退する場合は、研修講座、保育研究会等の主催機関の長あてに連絡をし、当該主催機関が定める様式により、遅刻又は早退の届を提出する。

様式第8号 園外研修 欠席・遅刻・早退届

#### 6 異業種体験研修について

- ・異業種体験研修は、長期休業中に対象者自身が研修場所を選定し、連絡や準備を整えて実施するものとする。
- ・研修場所は「子どもの育つ地域を知る」「幼稚園等とは異なる業種を体験することにより、視野を広げる」「教育を異なった職業の視点から見る」などのキャリアアップ研修Ⅱの趣旨に添うように、選択する。
- ・少なくとも実施の1ヵ月前には、準備を整え計画書が提出できるように進める。
- ・異業種体験の依頼やお礼については、各自で校長等を通じて行う（参考文例を参照）。
- ・計画書提出後の変更については、報告書に代えてよい。
- ・長期休業中に連続して実施することを原則とするが、受け入れ先の都合や日程上の都合により変更も可。ただし、土・日や休日に実施する場合は勤務の関係上、勤務の振替や代休を伴うので十分相談・検討すること。
- ・校長等は「様式3」により、異業種体験研修実施計画書を作成し、7月3日(月)までに、関係市町村等に提出する。
- ・関係市町村等は、幼稚園分については学びの改革支援課長へ、幼保連携型認定こども園分については

こども・家庭課長へ提出する。

様式 3 異業種体験研修実施計画書

参考) これまでの異業種体験研修場所の例

地域のデイサービス、特別養護老人ホーム、福祉作業所等 福祉関係施設

公立図書館、博物館、町営宿泊施設、公園、ゴミ収集所、有線放送局等の公営施設

病院、ホテル、民宿、飲食店、製造販売店(パン・豆腐・和菓子など)、スーパーマーケット、

J A農園、一般農家、一般小売店、自動車整備、石材店、建設作業所・・・

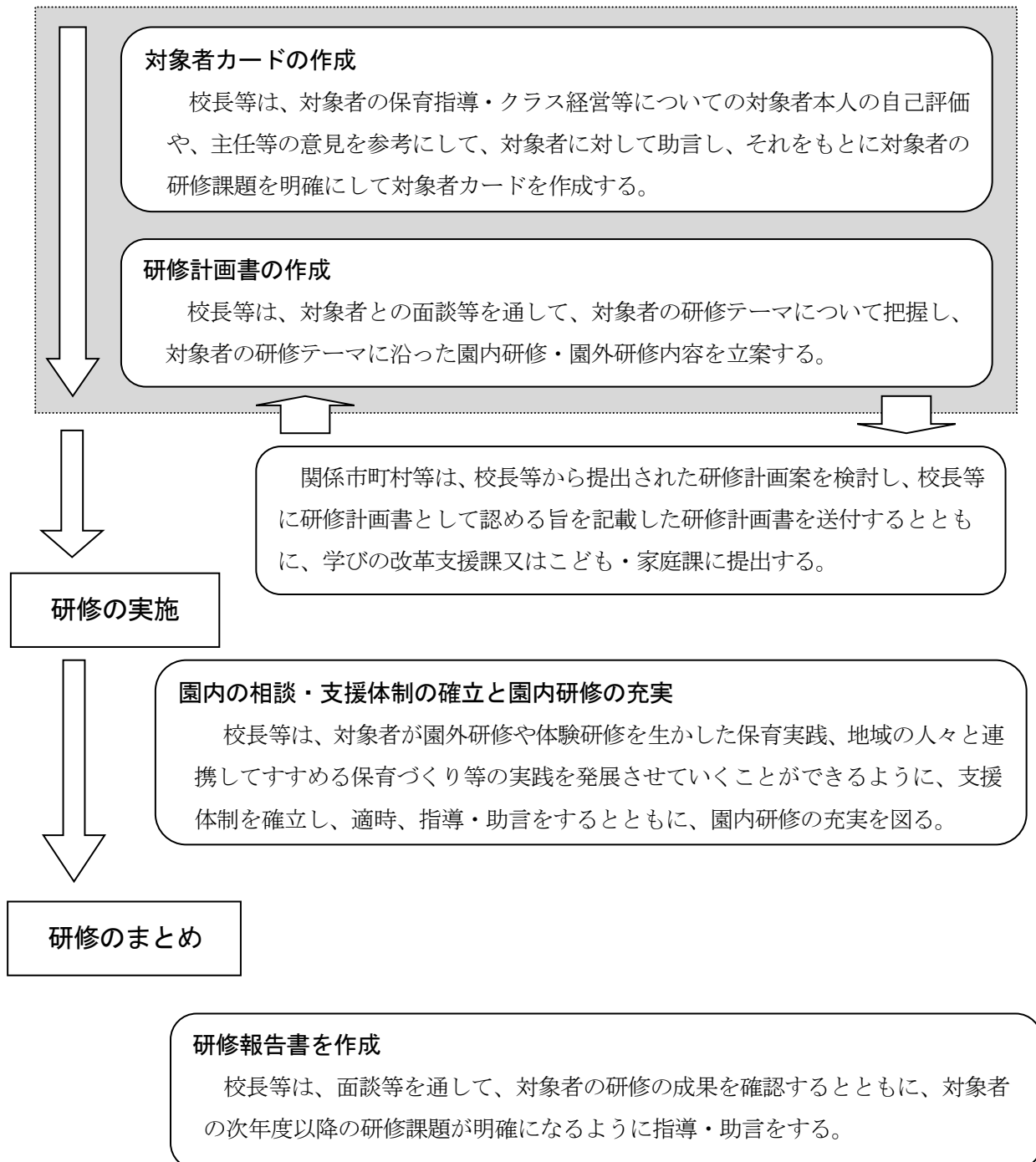
- ・ 校長等は、対象者の異業種体験研修への参加が終了した日から1ヵ月以内に、「様式3」により、**異業種体験研修実施報告書**を作成し、関係市町村等に提出する。
- ・ 関係市町村等は、幼稚園分については学びの改革支援課長へ、幼保連携型認定こども園分についてはこども・家庭課長へ提出する。

様式 3 異業種体験研修実施報告書

## 7 園内研修について

- ・ 園内研修においては、校長等が指導の主体となり、対象者との面談等を通して、対象者自身が自己の課題を明確にし、それに沿った研修テーマが決定できるように支援・援助する。また、対象者に即した研修計画を立案し、年間にわたって適時、相談・助言・指導をすることにより、園内研修の充実を図る。

### 対象者カード・研修計画書の作成



(1) 対象者カードの作成に当たって

- 対象者カードの作成に当たっては、以下の自己評価の参考例を参照し、対象者個々の課題に即して作成されるよう配慮していただきたい。

**自己評価の参考例**

保育指導に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画をもとにした月案、週案、日案の作成と有効な実施のあり方</li> <li>年間指導計画と五領域の関連について</li> <li>保育における教材研究、教材作成等の工夫</li> <li>幼児理解、カウンセリングマインドを生かした保育のあり方</li> <li>保育のねらいの設定とねらいの振り返りについて</li> <li>子どもが夢中になって遊ぶ環境の構成をどう引き出すか</li> <li>発達年齢に配慮した環境の構成について</li> <li>保育における保育者の援助のあり方</li> </ul> <p>等</p>
クラス経営に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス経営案の立案と実践、評価について</li> <li>子どもが心を開いて過ごしやすいクラスの環境の構成の工夫</li> <li>クラス・学年だよりの表し方の工夫</li> <li>読み聞かせやリトミック、歌などの活動の工夫</li> <li>保護者や地域社会との連携と協力、対応のあり方</li> <li>子どもの健康や安全に対する配慮について</li> <li>園内や学年内での連携と協力について</li> <li>配慮を必要とする園児とクラス経営</li> </ul> <p>等</p>

(2) 園内研修計画立案に当たって

- 園内研修計画の立案に当たっては、できるだけ具体的な実施内容を計画書に記述していくことによって、対象者自身の研修課題がより明確に意識化されていくように配慮していただきたい。

**園内研修実施計画の参考例**

回	研修内容	時期
1	<b>自己課題（テーマ）の設定</b> 自己課題について、園長と主任等から意見を聞き、視点を明確にする。	5月

2	<b>クラス経営の充実</b> 主任等に朝、帰りなどのクラス活動を公開し、クラス経営のあり方、方向、具体活動等を研究する	6月
3	<b>園内保育研究Ⅰ</b> 指導主事等来校、保育者、研究保育参加	6月
4	<b>幼児理解のあり方、園児の成長のとらえ方</b> 子どもの内面を理解することの大切さ、内面に働きかける言葉がけ 個別懇談会で、子どもの成長をどう伝え、保護者と相互理解を図るか	7月
5	<b>読み聞かせ、リトミック等の工夫</b> 本の選び方、読み聞かせのあり方、リトミックで育つ体について	8月
6	<b>保護者・地域との連携、協力</b> 保護者と信頼関係を築くために大切にしたいこと、伝え方、聞き方	9月
7	<b>配慮を要する園児と学級経営</b> インクルーシブ教育について。支援体制、連携のあり方	10月
8	<b>園内保育研究Ⅱ</b> 指導主事等来校、保育者、研究保育参加	11月
9	<b>園内研修の見返し</b> 子ども理解を基にした保育のあり方、クラスづくりのあり方	2月

### 園内研修メモの活用

※ 下記参考例のような「園内研修実施メモ」等を蓄積していくことにより、対象者の研修成果と今後の課題を明確にして、校内研修の充実を図るようにする。

#### キャリアアップ研修Ⅱ 園内研修実施メモ

№.	研修項目	実施日	指導者、協力者 等
		月 日	
実施内容			
指導内容			
研修成果と今後の課題			

### Ⅲ 関係書類の提出の流れ

#### 1 関係書類の提出一覧表

幼稚園等	キャリアアップ研修Ⅱ 対象者カード (評価案)(様式1) キャリアアップ研修Ⅱ 計画書(案)(様式2) 6月9日(金)	関係市町村等 (保管)	対象者カード (評価) 計画書  受領整理後	学びの改革支援課(幼稚園分) ／ こども・家庭課(認定こども園分)
	キャリアアップ研修Ⅱ 対象者カード(評価)(様式1) キャリアアップ研修Ⅱ 計画書(様式2) 確認後 送付 6月16日(金)			
	異業種体験研修実施計画書 (様式3)  7月3日(月)		異業種体験 研修実施計画書  受領整理後	
	異業種体験研修実施報告書 (様式3)  終了後1カ月		異業種体験 研修実施報告書  受領整理後	
	キャリアアップ研修Ⅱ 報告書(様式2)  令和6年2月15日(木)		キャリアアップ研修Ⅱ 報告書  受領整理後	
	キャリアアップ研修Ⅱ猶予願 (様式第5号) 4月14日(金)		キャリアアップ研修Ⅱ 猶予願  受領整理後速やかに	

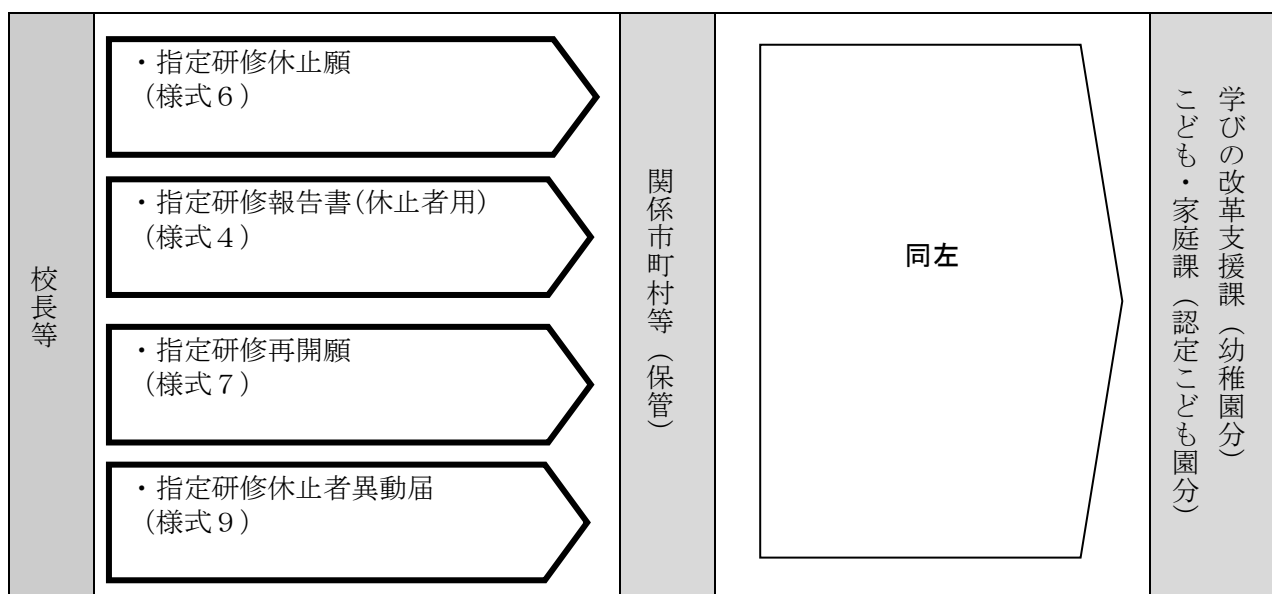
#### 2 研修の休止、再開の流れ

- ・対象者が健康上の理由等により、指定された年度途中で研修を継続することができないと判断する場合、校長等は、指定研修休止願(様式6)を関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。
- ・なお、翌年以降、研修を再開する場合、校長等は、指定研修再開願(様式7)を関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。

### ＜研修休止の例＞

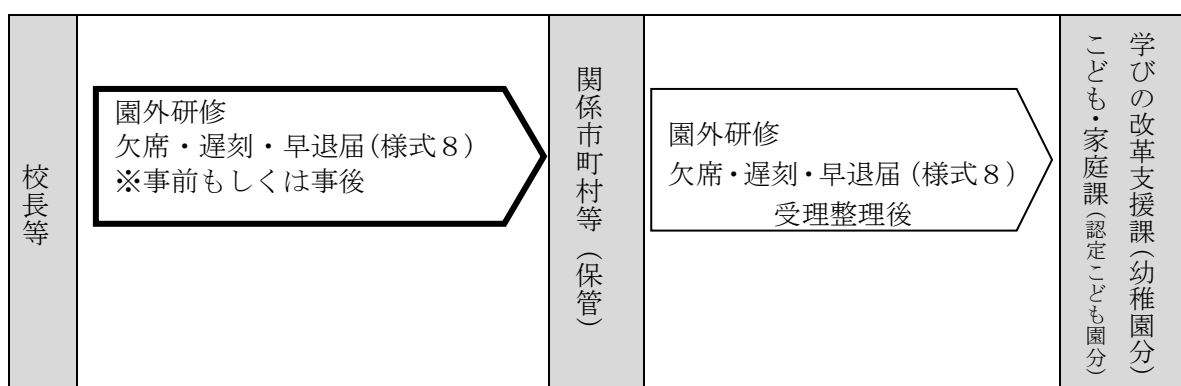
- ◇産、育休
- ◇療休、介護休暇等
- ◇健康上、受講不可能な場合
- ◇その他、県教育委員会が認めた場合

- ・指定研修休止者が異動する場合、校長等は、異動先の園（以下「新任園」という）の園長に、キャリアアップ研修Ⅱ休止の旨を連絡するとともに、「指定研修休止者異動届（様式9）」を、関係市町村等に提出する。関係市町村等は、幼稚園分は学びの改革支援課へ、認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。



### 3 欠席届等提出の流れ

- ・校長等は、対象者が健康上の理由等でキャリアアップ研修Ⅱ各研修の欠席（遅刻・早退）をするときは、速やかにその旨を当該研修の主催機関に連絡する。校長等は、事前もしくは事後に、関係市町村等に「園外研修 欠席・遅刻・早退届（様式8）」を提出する。関係市町村等は、その写しを、幼稚園分は学びの改革支援課へ、幼保連携型認定こども園分はこども・家庭課へ提出する。
- ・当該研修の担当者と相談の上、当該研修と代替可能な研修が年度内に存在する場合は、代替研修を受講する。



## 第三部

作成・提出書類(様式集)

(様式 1)

## キャリアアップ研修Ⅱ対象者カード（評価案）

園名	園	対象者氏名	
項 目			内 容
A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解	① 社会の秩序と規律を遵守し、信頼される存在 ② 教員としての責務の自覚 ③ 子どもに関する確かな科学的知見と深い人間愛		
B 確かな人権意識と共感力	① 全ての人の人権を尊重する態度 ② 児童や保護者の思い（悲しみや喜び）を感じ取る力		
C 地域社会と連携・協働する力	① 地域社会の発展に主体的に寄与する力 ② 郷土を愛し、地域の自然、歴史、文化及びそこに住む人々を尊重する態度		
D 目標実現に向け、柔軟に対応する力	① 知識や技能を常に刷新しようとする意欲や態度 ② 同じ目的に向かってチームで対応する力		
E 「教育のプロ」としての高度な知識や技能	① 保育内容、生徒指導、学級経営等を的確に実践する力 ② グローバル化、ICT 活用、インクルーシブな教育等の課題に対応できる力		
園長の意見			
本園研修対象者                      のキャリアアップ研修Ⅱ対象者カードを作成し提出します。 年      月      日  立                                      園                                      園長			
上記の内容を、貴園研修対象者                      の研修課題として認めます。 年      月      日  市・町・村      （代表者役職名・氏名）			

(様式2)

## キャリアアップ研修Ⅱ

## 計画書(案)

## ・ 報告書

幼稚園等名	園	対象者氏名	
研修テーマ			
報告事項	園内研修	園外研修	
	園内研修実施状況 ※箇条書きで記入する	園外研修出席状況 ※出席の場合□にチェックする	
	月 日		
	・ /	□ 全体研修(1日) ( 月 日)	
	・ /	□ 異業種体験研修 (2日) (異校種体験を含む)	
	・ /	[研修実施場所: 月 日]	
	・ /	[研修実施場所: 月 日]	
	・ /	□ キャリアステージ研修(1日) ( 月 日)	
	・ /	□ 選択研修(1日) 参加した研究会・研修会名	
	・ /	[場所: 月 日]	
園長との面談等状況	・ / ・ /		
園長の意見			
本園キャリアアップ研修Ⅱ対象者 の研修報告書を作成し、提出します。 令和 年 月 日 立 園 園長			
本研修計画書案を、貴園研修対象者 の研修計画書として認めます。(計画書のみ) 年 月 日 市・町・村 (代表者役職名・氏名)			

(様式3)

年 月 日

所管市町村担当課（経由）

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課長 様

長野県県民文化部 こども若者局こども・家庭課長 様

必要に応じて  
選択してください。

## キャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」実施（計画）・報告書

園名		対象者氏名	
企業・事業所 施設名		研修期間	月 日～ 月 日
住所 ・電話番号			

研修内容（計画段階の予定を記入する）	
研修を通じて学んだこと・今後に生かしたいこと等（報告書のみ）	
園長 所見 （報告書のみ）	

上記の通り報告いたします。

立

園 園長氏名

(様式4)

## キャリアアップ研修Ⅱ 報告書（休止者用）

園名	園	対象者氏名	
自己課題			
実施した園内研修の内容		実施した園外研修の内容	
月 日 ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・ /		※実施した研修の□にチェックする <input type="checkbox"/> 全体研修(1日) ( 月 日)  <input type="checkbox"/> 異業種体験研修 (2日) (異校種体験を含む) [研修実施場所: 月 日] [研修実施場所: 月 日]  <input type="checkbox"/> キャリアステージ研修(1日) ( 月 日)  <input type="checkbox"/> 選択研修(1日) 参加した研究会・研修会名 [ 月 日] [場所: 月 日]	
園長との 面談等状況	・ / ・ /		
本園研修対象者		が上記記載の研修を修了したことを認めます。 年 月 日	
立		園 園長	

※この用紙は、研修再開時まで休止者本人も保管すること。

キャリアアップ研修Ⅱ

指 定 研 修 猶 予 願

長野県教育委員会事務局  
学びの改革支援課長 様  
長野県県民文化部こども若者局  
こども・家庭課長 様

← 必要に応じて  
選択してください。

園名

園長名

このことについては、下記のとおりです。

記

対 象 者 氏 名	職 名

猶予の事由

(様式6)

年 月 日

(所管担当課) 様

園 園長

## 指定研修休止願

下記のとおり、本園対象者について研修を休止願います。

記

対象者氏名	職名
休止する研修	キャリアアップ研修Ⅱ
休止の理由	
行っていない研修	

※現在まで行った研修が分かるよう、報告書を添えて提出する。

※この用紙は、研修再開時まで休止者本人も保存する。

(様式7)

年 月 日

(所管担当課) 様

園 園長

## 指定研修再開願

下記のとおり、本園対象者について研修を再開願います。

記

対象者氏名	職名
再開する研修	キャリアアップ研修Ⅱ
休止した時の 勤務園	園
研修を休止した日	年 月
研修を再開する日	年 月
これから行う予定 の研修	

## キャリアアップ研修Ⅱ

## 園外研修 欠席・遅刻・早退届 (該当箇所を○で囲む)

長野県教育委員会事務局

学びの改革支援課長 様

長野県県民文化部こども若者局

こども・家庭課長 様

必要に応じて  
選択してください。

幼稚園等名

園長名

電話番号

FAX番号

このことについては、下記のとおりです。

記

受講者氏名	職 名

研修名・研修講座名	研修・講座期間
	月 日 ( ) ~ 月 日 ( )
欠席の事由	

研修種別 代替講座がある場合は、指示に従い下の欄に記入してください。

研修種別	共通必修研修
代替講座についての指示	別日程で同一内容の研修講座がある場合は、下の欄に代替講座名等を記入してください。

代替講座として、次の研修講座を申し込みます。

研修名・研修講座名	研修・講座期間
	月 日 ( ) ~ 月 日 ( )

※この様式は全体研修、異業種体験研修の手続きには使えません。

様

園 園長

## キャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」受け入れのお願い（依頼）

貴所におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県では10年目を迎えた中堅教職員の資質の向上を図るため、キャリアアップ研修Ⅱを実施しております。その一環として、より視野を広め、豊かな人間性を培うことを目指し、「異業種体験研修」を位置付けております。

つきましては、御多用中たいへんに恐縮ですが、貴所におきまして「異業種体験研修」を、下記により受け入れていただきたく、お願い申し上げます。

### 記

1 日 時

2 場 所

3 内 容

4 研修者氏名

5 その他

担 当

□□ □□ △△ △△

電 話

F A X

E-mail

様

園 園長

キャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」受け入れについて（お礼）

貴所におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度実施いたしました本校職員のキャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」の際には、急なお願いにもかかわらず快く受け入れていただきありがとうございました。

おかげさまで、たいへんに貴重な体験をさせていただき、無事終了することができました。皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

担 当

□□ □□ △△ △△

電 話

F A X

E-mail

(様式9)

年 月 日

所管市町村担当課（経由）

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課長 様

長野県県民文化部 こども若者局こども・家庭課長 様

必要に応じて  
選択してください。

\_\_\_\_立\_\_\_\_園

園長\_\_\_\_\_

## 指定研修休止者 異動届

下記のとおり、指定研修休止者（「指定研修休止願」が受理された対象者）の異動を報告します。

記

対象者の職氏名	職 名 氏 名	
現在の勤務園	園	
異動先の園	郡 市 名	
	園 名	園
休止している研修	キャリアアップ研修Ⅱ	
休止の理由		
行っていない研修		

【様式10】

令和5年度 幼稚園等キャリアアップ研修Ⅱ受講対象者報告書

令和 年 月 日

長野県教育委員会 様  
長野県 様

必要に応じて  
選択してください。

所属等を記入し  
てください。

この研修の受講対象者について、次のとおり報告します。

園名	氏 名 等	採用年月日	免許状の種類	経験の有無
	<small>ふりがな</small> (氏名) <hr/> (生年月日) 年 月 日	昭和/平成/令和 . .		保育士 ( 年) その他 ( )
	<small>ふりがな</small> (氏名) <hr/> (生年月日) 年 月 日	昭和/平成/令和 . .		保育士 ( 年) その他 ( )

担当課名 \_\_\_\_\_ 事務担当者名 \_\_\_\_\_ 電話 ( )

提出期限 令和5年3月23日(木) 正午

## キャリアアップ研修Ⅱ対象者カード（評価案）

園名	〇〇 園	対象者氏名	〇〇 〇〇
項 目		内 容	
A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解	① 社会の秩序と規律を遵守し、信頼される存在 ② 教員としての責務の自覚 ③ 子どもに関する確かな科学的知見と深い人間愛	・教員の社会的責務に関する理解を深め、信頼される存在を目指し、確かな判断力をもって行動しようとしている。 ・これまでの子ども観を見返し、さらに子どもの理解を深めてほしい。	
B 確かな人権意識と共感力	① 全ての人の人権を尊重する態度 ② 児童や保護者の思い（悲しみや喜び）を感じ取る力	・子どもや保護者の話をよく聞こうとしている。リスクマネジメントの観点から、効果的な手法を学んでほしい。	
C 地域社会と連携・協働する力	① 地域社会の発展に主体的に寄与する力 ② 郷土を愛し、地域の自然、歴史、文化及びそこに住む人々を尊重する態度	・地域の行事やボランティア活動等の運営に積極的に参画している。 ・地域活動で得た知識や技能、人脈を、教育活動に生かす視点を学んでほしい。	
D 目標実現に向け、柔軟に対応する力	① 知識や技能を常に刷新しようとする意欲や態度 ② 同じ目的に向かってチームで対応する力	・分からないことや困っていることを、同僚や上司に相談し、課題を解決しようとしている。 ・教育等に係る最新情報に常に触れ、自己課題を解決してほしい。	
E 「教育のプロ」としての高度な知識や技能	① 保育内容、生徒指導、学級経営等を的確に実践する力 ② グローバル化、ICT 活用、インクルーシブな教育等の課題に対応できる力	・よいものや必要なものを学ぼうとする意欲と謙虚さをもっている。 ・さらに、よい保育を数多く見て、先輩教員の姿から、知識や技能を学んでほしい。	
園長の意見	10 年目という節目の年に、これまでの自分の保育指導をしっかりと見つめ直し、日々の保育改善を図ってほしい。そのためには、園児が生き生きと取り組めるような環境の設定、保育者の援助のあり方を考え、さらなる保育実践をしてほしい。また、園児を思いやり、真摯に対応ができる面を、研修を通じてさらにクラスの経営力の向上につなげてほしい。		
本園研修対象者 〇〇 〇〇 教諭のキャリアアップ研修Ⅱ対象者カードを作成し提出します。 <div style="text-align: right;">〇年 〇月 〇日</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <span>〇〇 立</span> <span>〇〇 園</span> <span>園長</span> <span>〇〇 〇〇</span> </div>			
上記の内容を、貴園研修対象者 〇〇 〇〇 教諭の研修課題として認めます。 <div style="text-align: right;">〇年 〇月 〇日</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <span>〇〇 市</span> <span>〇〇 課</span> <span>課長</span> <span>〇〇 〇〇</span> </div>			

幼稚園等名		〇〇幼稚園	対象者氏名	〇〇 〇〇
研修テーマ		子どもが夢中になって遊び込める環境の構成と、教師の援助のあり方		
報告事項	校内研修		校外研修	
	校内研修実施状況 ※箇条書きで記入する  ・ 5/1 自己課題(テーマ)の設定  ・ 6/9 クラス経営の充実  ・ 6/23 園内保育研究Ⅰ  ・ 7/14 幼児理解のあり方、成長のみとり方  ・ 8/25 読み聞かせ、リトミック等の工夫  ・ 9/8 保護者・地域との連携、協力  ・ 10/20 配慮を要する園児とクラス経営  ・ 11/10 園内保育研究Ⅱ  ・ 2/16 キャリアアップ研修Ⅱの振り返り		校外研修出席状況 ※出席の場合□にチェックする  <input type="checkbox"/> 全体研修（1日）（5月19日）  <input type="checkbox"/> 異業種体験研修（2日） 研修場所：洋菓子店〇〇堂（8月3日） 研修場所：       "                   （8月4日）  <input type="checkbox"/> 選択研修（1日）（10月27日）  <input type="checkbox"/> キャリアステージ研修（1日）（11月9日）	
園長との面談等状況		・ ・		
園長の意見				
本園キャリアアップ研修Ⅱ対象者   〇〇 〇〇 教諭の研修報告書を作成し、提出します。 令和       年       3月   × 日 〇〇立××幼稚園 園長   □□ □□				
本研修計画案を、貴園研修対象者   〇〇 〇〇 教諭の研修計画書として認めます。（計画書のみ） 年       月       日 市・町・村   （代表者役職名・氏名）				

幼稚園等名	〇〇幼稚園	対象者氏名	〇〇 〇〇
研修テーマ	子どもが夢中になって遊び込める環境の構成と、教師の援助のあり方		
報告事項	校内研修	校外研修	
	校内研修実施状況 ※箇条書きで記入する ・ 5/1 自己課題(テーマ)の設定 ・ 6/9 クラス経営の充実 ・ 6/23 園内保育研究Ⅰ ・ 7/14 幼児理解のあり方、成長のみとり方 ・ 8/25 読み聞かせ、リトミック等の工夫 ・ 9/8 保護者・地域との連携、協力 ・ 10/20 配慮を要する園児とクラス経営 ・ 11/10 園内保育研究Ⅱ ・ 2/16 キャリアアップ研修Ⅱの振り返り	校外研修出席状況 ※出席の場合□にチェックする <input checked="" type="checkbox"/> 全体研修(1日) (5月19日) <input checked="" type="checkbox"/> 異業種体験研修(2日) 研修場所: 洋菓子店〇〇堂(8月3日) 研修場所: " (8月4日) <input checked="" type="checkbox"/> 選択研修(1日)(10月27日) <input checked="" type="checkbox"/> キャリアステージ研修(1日)(11月9日)	
園長との面談等状況	・ 4/14 研修の計画を確認 ・ 7/28 異業種体験研修の打合せ ・ 2/22 研修の振り返りと今後の取組		
園長の意見	この研修を通して様々なことを学び、幼児教育者として研鑽できたように思う。10日間の園内研修に意欲的に取り組み、自己を見つめ返し、伸びようとする姿が伺え、意義深い研修となった。夏休み中に行った異業種体験研修では、暑い中の作業で地元の産業に深くかかわる体験をし、教師としての奥深さが出てきたように思う。ミドルリーダーとして貴重な研修を積んだ1年であった。		
本園キャリアアップ研修Ⅱ対象者 〇〇 〇〇 教諭の研修報告書を作成し、提出します。 令和 年 3月 × 日 〇〇立××幼稚園 園長 □□ □□			
本研修計画案を、貴園研修対象者 〇〇 〇〇 教諭の研修計画書として認めます。(計画書のみ) 年 月 日 〇〇 市 〇〇 課 課長 ◇◇ ◇◇			

(様式3)

年 月 日

〇〇 市 〇〇課 (経由)

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課長 様

記入例

キャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」実施 (計画・**報告**) 書

園名	〇〇 幼稚園	対象者氏名	〇〇 〇〇
企業・事業所 施設名	洋菓子 〇〇堂	研修期間	8月 3日～ 8月 4日
住所 ・電話番号	〇〇市 〇〇番地 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		

研修内容 (計画段階の予定を記入する)

- ・ 洋菓子造りの工程、会社の概要についての学習
- ・ 接客、商品管理等の業務

研修を通じて学んだこと・今後に生かしたいこと等 (報告書のみ)

- ・ 園児と以前見学したことのある〇〇堂で研修させていただき、普段は知らない部分を教えていただいたことで、苦労や工夫を知ることができた。
- ・ お客のニーズを大切にしながら、独自性のある商品を作ろうとする前向きな姿勢が、洋菓子作りの様子から伝わってきた。子どもの願いや思いを大切にしながら、保育でも新しい一歩を踏み出す姿勢は必要ではないかと思える機会となった。
- ・ 接客業務を通じて、相手のことを思い、相手の立場に立って物事を考え、取り組んでいくことの大切さを学ぶことができた。保護者との接し方のヒントになるような気がした。

園長  
所見  
(報告書のみ)

実際に体験してみないと分からないことを体験し、学ぶことができ、とてもよかったと思います。接客業務を通して、「おもてなしの心」を学べたと思います。「おもてなしの心」は、保育者として、園児・保護者・同僚に対してのかかわりにおいて共通するものがあり、これからの園生活において役立つことでしょう。

上記の通り報告いたします。

〇〇 市立 〇〇 園 園長氏名 〇〇 〇〇